

平成28年度 中間期 学校評価

愛南町立平城小学校

【評価基準】 A:目標を達成 B:8割以上達成 C:6割以上達成 D:6割未満

項目	重点目標	評価指標及び目標値(期待される姿)	評価	考察(◇)及び改善方策(◆)	評価資料	アンケート結果				
						4	3	2	1	?
1 教育課程・学習指導	確かな学力の定着向上に努める	① 授業時数が確保され、授業内容が計画通り実施できているか。 目標値 調査結果で、90%以上達成	A	◇ 授業時数は確保できているが、特に高学年は、内容をこなすのが精一杯で、習熟までいかない教科があった。 ◆ 交換授業等、早めに連絡を取り合って時数確保するとともに、学期・学年を見通して計画的に実施したり、内容の軽重を考えながら授業内容の充実を図ったりする。	授業時数集計結果 週案 教職員アンケート					
		② ねらいを明確にして、分かる授業の実施に努めているか。 目標値 教職員・児童・保護者の80%以上が肯定(4・3)	A	◇ どの学級もねらいを明確にしたり、見通しをもたせたりして授業に取り組むことができた。振り返りも大切にできたが、なかなか時間が取れないことがあり、反省している。 ◆ 引き続きねらいを明確にしてわかる授業の実践に努めるとともに、個に応じた支援や保護者への啓発にも努めていく。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	29%	71%	0%	0%	0%
		③ 音読・視写、文章を読む1週間に4回以上行ったか。 目標値 教職員の80%以上が達成	A	◇ 朝学習の時間を有効に活用することができた。 ◆ 今後も今の取組を継続し、「読み取る力」の向上に努めたい。		4回	3回	2回	1回	0回
		④ 自分の考えを書く活動を取り入れた授業を授業時数の半分以上実施したか。 目標値 教職員の80%以上が肯定(4・3)	A	◇ 国語科・社会科・算数科・理科の4教科以外でも、いろいろな場面で取り入れることができた。 ◆ 学年や学級によって偏りがでないよう、研修の機会を設けて、学校全体で統一して取り組めるものがあるのではないかとと思う。	教職員アンケート	75%	25%	0%	0%	0%
		⑤ 「15分×学年」以上の家庭学習の習慣が身に付いているか。 目標値 教職員・児童・保護者の80%以上が肯定(4・3)	B	◇ 児童と教職員・保護者の結果に大きなずれがある。また、望ましい家庭学習の習慣が身に付いている児童とそうでない児童の個人差が大きい。家庭学習に取り組む内容や方法にも課題があると考えられる。 ◆ 家庭学習の内容や量等を確認しあい、再検討するとともに、学習の仕方についても指導を徹底する必要がある。また、家庭学習は家庭の協力が不可欠であるので、保護者への啓発にも努めていく。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	9%	45%	45%	0%	0%
1 教育課程・学習指導	学校関係者評価委員の所見	○ 家庭学習の習慣については、家庭における教育環境がいろいろと違うので、難しいところもあるのではないかと。自主性が育って習慣化され、宿題をして当たり前になってくれるといいのだが。 ○ 家庭学習の設問に、「塾」「児童クラブ」等は家庭学習に含まれるのかを明記した方が答えやすいのではないかと。 ○ 児童の意識の差があるのではないかと。何のために学習するのか、だれのために学習するのかを児童にしっかりと分らせる必要がある。	学校の対応	○ 研修通信や学年通信等を活用して、学校の取組や家庭学習の方法・ねらい等を保護者に発信し、学校と家庭の連携を図る。 ○ 望ましい家庭学習の習慣が身に付いていない児童には、学習意欲の向上のための声掛けを行うとともに、個別に教育相談を行い、対応策を検討していく。 ○ 限られた時間で習熟を図れるよう、分かる授業の実践に努める。 ○ 発達段階に応じた家庭学習の内容や、家庭での確認方法の再検討をする。 ○ 家庭学習の設問については、「塾」「児童クラブ」を含めるかどうかについて検討し、来年度から明記する。						
1 教育課程・学習指導	心の教育の充実にも努める	⑥ 体験活動等を生かした心に響く道徳教育の実践に努めているか。 目標値 教職員・児童・保護者の80%以上が肯定(4・3)	B	◇ 教職員の結果に4の評定がないのは反省しなければならない。謙虚に答えているのかもしれないが、自分の実践に自信がもてていないのは問題である。 ◆ 心に響くというのは難しいが、日々意識して実践に取り組むとともに、地域の人材をさらに活用し、体験活動と授業(学び)の関連性を、学級通信やホームページ等で積極的に発信する。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	0%	82%	18%	0%	0%
		⑦ 児童一人一人を大切に学級経営を行い、望ましい人間関係づくりに努めているか。 目標値 教職員・児童・保護者の80%以上が肯定(4・3)	A	◇ 教師の温かい接し方が子どもたち同士の関係にもつながると思うので、子どもの気持ちを大切に学級経営に努めた。また、問題の未然防止や、早期解決に努めるよう心掛けてきた。 ◆ 1と2の評定にしっかりと向き合い、日記や教育相談等、あらゆる場面で児童理解に努めるとともに、保護者との人間関係作りにも努める。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	9%	91%	0%	0%	0%
		⑧ 人権・同和教育に視点をあてた学習を計画通り実施しているか。 目標値 教職員の80%以上が肯定(4・3)	A	◇ 年間指導計画に沿って計画的に実施することはできたが、その内容や実施方法についてはまだまだ充実させていく必要がある。 ◆ すべての教育活動の中で人権・同和教育の視点を意識しておくことはもちろん、さらに研修を深め、その取り組みの内容を充実させるよう努める。	教職員アンケート	14%	79%	7%	0%	0%
		⑨ 差別や偏見につながる問題の解決が日常的に図られているか。 目標値 教職員・児童の80%以上が肯定(4・3)	A	◇ 大きな問題はないが、時々、学級の中や地域での言葉遣いが気になることがややあった。特に高学年の言葉遣いが気になった。 ◆ 日々児童の様子や変化に気付けるよう、アンテナを広げておくとともに、教職員間での情報交換を密にし、早期発見早期解決に努める。	教職員アンケート 児童アンケート	22%	72%	6%	0%	0%
1 教育課程・学習指導	学校関係者評価委員の所見	○ ⑥の教職員の結果に「4」の評定がないが、先生方は日頃から一生懸命に取り組まれているのではないかと。もっと自信を持っていいのではないかと。 ○ 保護者の所見の中に、「先生の言葉遣いが悪い」とあったが、本当だろうか。児童が悪いことを叱る時は、あまり優しい言葉ばかりではだめだと思ふ。ある程度厳しい言葉も必要である。全体的に最近の先生方の言葉遣いはとてもいいと思う。あまり気にしすぎて本来の指導ができなくなってしまつては本末転倒である。自信をもって指導してほしい。	学校の対応	○ 道徳の教科化に向けて、研修を深め、準備をしていかなければならない。 ○ 「先生の言葉遣いが悪い」という意見を真摯に受け止めるとともに、自分を見直すいいチャンスとして捉えたい。 ○ 道徳の授業を毎時間最高のものにはできないかもしれないが、少しでも児童の心に残る授業になるように努力していく。						

2	生徒指導	生徒指導の充実と健全育成に努める	<p>① 進んであいさつができる児童が育っているか。 目標値 教職員・児童・保護者・地域住民の80%以上が肯定(4・3)</p> <p>② いじめ・不登校の早期発見、早期対応に努めているか。 目標値 教職員・児童・保護者の80%以上が肯定(4・3)</p> <p>③ スクールソーシャルワーカーを活用したり、教育相談による児童理解に努めたりしながら、児童の悩みに積極的に対応しているか。 目標値 教職員・児童・保護者の80%以上が肯定(4・3)</p>	B	<p>◇ 少しずつ良くなってはきたが、まだまだ個人差がある。また、登下校中や教師に対してはできるが、友達同士や地域ではまだまだできていないのが現状である。</p> <p>◆ あ「明るく笑顔で」、い「いつでも どこでも だれにでも」、さ「先に」、つ「続けよう」を、全体指導・個別指導を通して徹底していく。また、大人自らが進んで気持ちのよいあいさつをする。</p>	<table border="1"> <tr><td>教職員アンケート</td><td>11%</td><td>72%</td><td>17%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>児童アンケート</td><td>52%</td><td>43%</td><td>4%</td><td>1%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>保護者アンケート</td><td>24%</td><td>56%</td><td>14%</td><td>1%</td><td>4%</td></tr> <tr><td>地域住民アンケート</td><td>33%</td><td>40%</td><td>20%</td><td>0%</td><td>7%</td></tr> </table>	教職員アンケート	11%	72%	17%	0%	0%	児童アンケート	52%	43%	4%	1%	0%	保護者アンケート	24%	56%	14%	1%	4%	地域住民アンケート	33%	40%	20%	0%	7%
		教職員アンケート	11%	72%	17%	0%	0%																							
		児童アンケート	52%	43%	4%	1%	0%																							
保護者アンケート	24%	56%	14%	1%	4%																									
地域住民アンケート	33%	40%	20%	0%	7%																									
B	<p>◇ 日頃の情報交換やアンケート等により、問題の未然防止や早期発見・早期対応に努めてきた。昨年度よりやや評価がよくなっているが、保護者の肯定率がやや低いのが課題である。</p> <p>◆ 日々の児童の様子だけでなく、教育相談の時間を確保したり、保護者との会話を増やしたりしながら、児童の実態把握に努めるとともに、教職員間の情報の共有を図り、組織的に対応していくよう努める。</p>	<table border="1"> <tr><td>教職員アンケート</td><td>6%</td><td>94%</td><td>0%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>児童アンケート</td><td>77%</td><td>19%</td><td>3%</td><td>1%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>保護者アンケート</td><td>9%</td><td>52%</td><td>7%</td><td>2%</td><td>31%</td></tr> </table>	教職員アンケート	6%	94%	0%	0%	0%	児童アンケート	77%	19%	3%	1%	0%	保護者アンケート	9%	52%	7%	2%	31%										
教職員アンケート	6%	94%	0%	0%	0%																									
児童アンケート	77%	19%	3%	1%	0%																									
保護者アンケート	9%	52%	7%	2%	31%																									
B	<p>◇ スクールソーシャルワーカーに、児童・保護者・教職員等にかかわっていただきありがたい。児童の18%が1・2の評定になっているのは、まだまだ児童の悩みに対応できていないのだと反省している。</p> <p>◆ 今後もスクールソーシャルワーカーとの連携を深めるとともに、学級担任以外との教育相談を実施する等、積極的に児童の悩みに発見や対応に努めていく。</p>	<table border="1"> <tr><td>教職員アンケート</td><td>11%</td><td>83%</td><td>6%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>児童アンケート</td><td>63%</td><td>19%</td><td>10%</td><td>8%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>保護者アンケート</td><td>11%</td><td>58%</td><td>8%</td><td>2%</td><td>22%</td></tr> </table>	教職員アンケート	11%	83%	6%	0%	0%	児童アンケート	63%	19%	10%	8%	0%	保護者アンケート	11%	58%	8%	2%	22%										
教職員アンケート	11%	83%	6%	0%	0%																									
児童アンケート	63%	19%	10%	8%	0%																									
保護者アンケート	11%	58%	8%	2%	22%																									
	学校関係者評価委員の所見	<p>○ 子どもたちのあいさつはよくなってきていると思う。元気をもらうことがよくある。</p> <p>○ なかなか難しいとは思いますが、教育相談の時間をしっかりと確保したり、児童と向き合って話すチャンスを作ってほしい。</p> <p>○ いじめに関しては、エスカレートする前に、早期発見・早期解決して欲しい。そのために、日頃の観察をしっかりと、子どもたちの変化に気付いてほしい。</p> <p>○ 問題に対しては、学級担任だけで抱え込まず、組織的に対応してほしい。</p> <p>○ 何かあった時には、思い込みで指導せず、事実をしっかりと把握し、子どもたちの本当の姿をしっかりと見抜いてほしい。</p>	学校の対応	<p>○ あいさつについては、評価を子どもたちへ返すとともに、あいさつの意義を伝え、継続して指導していくとともに、教職員自らが元氣なあいさつを心掛ける。</p> <p>○ 声を出すことの指導をしていく。</p> <p>○ 教育相談を継続的に行う。</p> <p>○ ささいなことで児童の様子を日々情報交換し、全教職員で児童を見守る意識をもつ。</p> <p>○ 教職員が温かく児童に接することにより、子ども同士も温かい人間関係を築けるようにする。</p>																										
3	保健管理	健康安全教育の充実 に努める	<p>① 児童に「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が身に付いているか。 目標値 教職員・児童・保護者の80%以上が肯定(4・3)</p> <p>② 学校給食を通して、児童に望ましい食習慣や運動に親しむ習慣が身に付いているか。 目標値 教職員・児童・保護者の80%以上が肯定(4・3)</p>	B	<p>◇ 児童と保護者・教職員の結果にずれがある。昨年度の質問から「片付け」を削除した結果、ややよくなっているが「片付け」ができていなかったと思われる。まだまだ個人差(家庭による差)がある。</p> <p>◆ 家庭の事情等により改善が難しいところはあるが、基本的な生活習慣を身に付けることの大切さの指導を充実させるとともに、いろいろな機会を通して保護者への啓発にも努める。</p>	<table border="1"> <tr><td>教職員アンケート</td><td>0%</td><td>76%</td><td>24%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>児童アンケート</td><td>70%</td><td>22%</td><td>6%</td><td>2%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>保護者アンケート</td><td>22%</td><td>51%</td><td>23%</td><td>3%</td><td>1%</td></tr> </table>	教職員アンケート	0%	76%	24%	0%	0%	児童アンケート	70%	22%	6%	2%	0%	保護者アンケート	22%	51%	23%	3%	1%						
		教職員アンケート	0%	76%	24%	0%	0%																							
児童アンケート	70%	22%	6%	2%	0%																									
保護者アンケート	22%	51%	23%	3%	1%																									
A	<p>◇ 児童と保護者・教職員の評価にずれはあるが、昨年度に比べて評価がよくなっている。給食の残量は少ないと思う。</p> <p>◆ 食に関する指導の充実を図るとともに、給食委員会の活動や屋の放送等の充実を図っていく。また、保護者との連携を密にし、足並みをそろえて取り組んでいく。運動に関しては、体育科の授業を中心に工夫して取り組んでいく。</p>	<table border="1"> <tr><td>教職員アンケート</td><td>18%</td><td>76%</td><td>6%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>児童アンケート</td><td>66%</td><td>19%</td><td>6%</td><td>9%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>保護者アンケート</td><td>28%</td><td>61%</td><td>8%</td><td>1%</td><td>2%</td></tr> </table>	教職員アンケート	18%	76%	6%	0%	0%	児童アンケート	66%	19%	6%	9%	0%	保護者アンケート	28%	61%	8%	1%	2%										
教職員アンケート	18%	76%	6%	0%	0%																									
児童アンケート	66%	19%	6%	9%	0%																									
保護者アンケート	28%	61%	8%	1%	2%																									
	学校関係者評価委員の所見	<p>○ スポーツ少年団の練習等がある、早寝・早起きがなかなかできないことがあるのではないかと。</p> <p>○ 家庭の事情によって、児童の頑張りだけではどうしようもないところもあるのではないかと。</p>	学校の対応	<p>○ 家庭の事情を配慮しながら、望ましい習慣を身に付けられるよう、具体的な手立てを講じる。</p> <p>○ 日常生活に支障が出ている児童に対しては、保護者も含め指導を継続していく。</p> <p>○ 積極的に家庭へ啓発していく。</p>																										
4	特別支援教育	特別支援教育の充実 に努める	<p>① 特別支援教育に対する教職員の共通理解が図られ、校内の協力体制が機能しているか。 目標値 教職員の80%以上が肯定(4・3)</p> <p>② 特別な教育的支援を必要としている児童に、効果的な指導を行っているか。 目標値 教職員の80%以上が肯定(4・3)</p>	A	<p>◇ 学年部会等を通して、共通理解を図るよう努めてきたが、学校全体で考えるとまだまだ不十分であると思う。</p> <p>◆ 特別支援学級や通級指導教室についての正しい理解を深めるため、さらに研修を積んで共通理解を図り、協力体制を充実させていく。また、合理的配慮について、保護者や子どもたちにも理解させていく必要を感じる。</p>	<table border="1"> <tr><td>教職員アンケート</td><td>0%</td><td>89%</td><td>11%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> </table>	教職員アンケート	0%	89%	11%	0%	0%																		
		教職員アンケート	0%	89%	11%	0%	0%																							
A	<p>◇ 通級指導教室(きらりルーム)の設置により、特別な教育的支援を要する児童への効果的な指導ができるようになった。効果が表れるのには個人差があるため、その差が評価として表れていると思われる。</p> <p>◆ 個別の指導計画を活用し、一人一人に合った効果的な指導の方法を工夫するとともに、教職員間の情報交換を密にし、共通理解を図りながら指導の充実を図る。</p>	<table border="1"> <tr><td>教職員アンケート</td><td>6%</td><td>82%</td><td>12%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> </table>	教職員アンケート	6%	82%	12%	0%	0%																						
教職員アンケート	6%	82%	12%	0%	0%																									
	学校関係者評価委員の所見	<p>○ 日頃からともよく対応してもらっているが、進学した時のことを考えると、あまり手をかけすぎず、自立させることも大切である。それを見通して指導する方が児童のためになるのではないかと。</p> <p>○ 通級教室に通わせなかった保護者にとって、自校に通級指導教室(きらりルーム)が設立されたことはとてもありがたい。送迎の負担がないため、入級を前向きに考えられるようになった。また、今まで他校の通級指導教室に送迎していた保護者の負担も減った。</p> <p>○ 通常学級の中にも支援を必要とする児童はたくさんいると思う。支援員等の人材を確保し、すべての子どもたちを伸ばすことができるだけの体制を整えてほしい。</p> <p>○ 特別な支援を必要とする児童が、からかい等の対象にならないようにしてほしい。</p>	学校の対応	<p>○ 一人一人が大切な存在であること、どの子も伸びようとする気持ちと力をもっていることを常に意識し、指導していく。</p> <p>○ 特別な教育的支援を必要としている児童に効果的な指導になるよう、交流学習を計画的に実践していく。</p> <p>○ 特別な支援を必要とする児童へのからかい等、ささいなことを見逃さないようにする。</p> <p>○ 通常学級の中にも配慮を要する児童について、全教職員で共通理解を図り、その対応について検討していく。</p> <p>○ 特別支援教育の取組等について、通信等を活用して積極的に情報発信をする。</p> <p>○ 通常学級の中にも配慮を要する児童は多いので、すべての児童の学習効果を上げるためには、支援員等の配置は必要である。</p>																										

5 研修	教職員の資質と指導力の向上に努める	① 校内研修は現職教育計画に沿って効果的に実施されているか。 目標値 教職員の80%以上が肯定(4・3)	A	◇ 校内研修は、時間確保が難しいが計画的に実施され、教育諸問題への対応や研究推進等、バランスを考慮して取り組むことができたが、焦点を絞って研究を深めることができなかった。 ◆ 授業研究を通して、授業改善及び指導力向上に努めたい。また、特に2学期は、焦点を絞り、事前研究会に向けて具体的に取り組んでいきたい。	教職員アンケート	33%	61%	6%	0%	0%
		② 校内・校外研修に主体的に参加し、自己研修に努めているか。 目標値 教職員の80%以上が肯定(4・3)	A	◇ 各自が問題意識をもって積極的に参加することができた。互いの教育実践や教育諸問題への対応、指導方法などを学びあうことができた。 ◆ 今後も、互いの学びを全体に広げ、共に資質の向上を目指して努力していきたい。	教職員アンケート	6%	89%	6%	0%	0%
		③ 信頼される教師として、視野の拡大や資質の向上に努めているか。 目標値 教職員・保護者・地域住民の80%以上が肯定(4・3)	B	◇ 忙しい中、それぞれで努力はしているが、保護者や地域住民の「1」や「2」や「？」が多いことは、情報発信不足や保護者・地域とかかわりがまだまだ少ないのではないと思われる。 ◆ 積極的に保護者や地域とかかわるとともに、丁寧な対応に努める。また、情報発信にも努める。	教職員アンケート 保護者アンケート 地域住民アンケート	17% 13% 7%	72% 58% 47%	11% 8% 13%	0% 0% 0%	0% 21% 33%
学校関係者評価委員の所見	○ 地域の方々に知っていただくことも大切である。自分の地域行事等に積極的に参加することはもちろん、平成小学校区内の地域行事にも積極的に参加してほしい。 学校の対応 ○ 児童のどのような姿を目指しているのか、中心となる取組は何なのか、今一度確認し、全教職員が同じ歩調で進める。 ○ 地域の行事に教職員の参加を働きかける。 ○ 各種通信、ホームページ等での情報発信に努めるとともに、地域の行事へ積極的に参加する。									
6 保護者・地域住民との連携	保護者・地域住民との連携に努める	① 保護者・地域住民の学校への願いを把握し、適切に対応できるよう努めているか。 目標値 教職員・保護者・地域住民の80%以上が肯定(4・3)	B	◇ 昨年度に比べ、保護者の評価はやや高くなっているが、まだまだ「2」や「？」が多い。積極的なかわりが不足しているのではないかとと思う。 ◆ 保護者や地域と積極的にかかわり、その願いや思いをしっかりとくみ取るとともに、組織として、ていねいに対応していく。	教職員アンケート 保護者アンケート 地域住民アンケート	24% 11% 0%	71% 63% 60%	6% 6% 20%	0% 1% 0%	0% 19% 20%
		② 保護者と教職員が協力したPTA活動が行われているか。 目標値 教職員・保護者の80%以上が肯定(4・3)	A	◇ PTA活動では、役員さんがとても協力的でありがたい。保護者の「？」が多いということは、まだまだ保護者の中には、積極的なPTA活動への参加が不十分な方がいるのではないかとと思う。 ◆ PTA活動への参加が一部の保護者だけにならないように、情報提供に努めるとともに、望ましい人間関係を築くよう努める。	教職員アンケート 保護者アンケート	18% 19%	82% 61%	0% 8%	0% 0%	0% 12%
		③ 地域の人材や教育資源を活用するなど地域の教育力を取り入れた教育活動を推進しているか。 目標値 教職員・保護者・地域住民の80%以上が肯定(4・3)	B	◇ 登下校の安全指導や授業等、いろいろな場面で協力していただき、ありがたい。総合的な学習の時間や生活科を中心に、保護者や地域の方々、関係機関等に協力していただき、学習効果を上げることができた。 ◆ 人材バンクの見直しを行い、協力していただける方を発掘しながら、今後も地域の教育力を生かした教育活動を実践していきたい。	教職員アンケート 保護者アンケート 地域住民アンケート	18% 13% 13%	76% 64% 60%	6% 8% 20%	0% 0% 0%	0% 15% 7%
		④ 学校便りやホームページ等で学校の取組が積極的に発信されているか。 目標値 教職員・保護者・地域住民の80%以上が肯定(4・3)	A	◇ 学級担任を中心に、積極的にホームページを更新したり、読みやすい学校便りに工夫改善したりする等、昨年度の反省を生かした改善の効果が表れてきた。 ◆ 引き続き、児童の様子や学校の取組について、積極的に情報発信するよう努める。	教職員アンケート 保護者アンケート 地域住民アンケート	47% 30% 40%	47% 60% 47%	6% 2% 0%	0% 2% 0%	0% 6% 13%
学校関係者評価委員の所見	○ 地域の中には、いろいろな知識や技術をもっている方がたくさんいるので、積極的に活用してほしい。まだまだねむっている人がいるのではないかと。公民館に問い合わせ等、発掘してほしい。 ○ 見守り隊の方々に感謝の気持ちを伝える場を設けてほしい。 ○ 学校便りがとても見やすくなった。ルビつきになったのがよい。外国から来られている保護者や低学年の児童にも読めるのでとてもよい。 ○ 何かの機会に書いてもらう等、いろいろな機会を通して、保護者の声を聞くことができるようにしてほしい。 学校の対応 ○ 参観日や行事にアンケートをとって、参加者の意見を聞く。 ○ 見守り隊の方をはじめ、地域の多くの方々に支えていただいていることを児童に気付かせ、教職員も共に、感謝の気持ちをあいさつなどで表すようにする。 ○ 見守り隊の方々の存在を当たり前に思わないよう、感謝の気持ちを伝える場を設ける。									